

# 2020年3月期第3四半期 決算補足資料

---

---

2020年2月12日



(東証二部 9857)

連結決算概要	・・・	P. 3
品目別売上高	・・・	P. 4
業界別売上高	・・・	P. 5
バランスシート（連結）	・・・	P. 6
連結業績推移	・・・	P. 7

(単位:百万円)	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減額		前年 同四半期比		2020年3月期 業績見通し
売上高	25,873	25,781	△	91	△	0.4%	38,000
営業利益	894	987	+	93	+	10.4%	1,500
経常利益	955	1,032	+	76	+	8.1%	1,560
親会社株主に帰属する 四半期純利益	613	671	+	58	+	9.5%	1,000

## 決算の概況

- 社会インフラ市場で使用される産業車両の販売は堅調に推移した他、化学品製造業や鉄鋼製品製造業向けの販売も増加したものの、機械製造業、電力業界向けの販売が減少しました。

(注) 本資料中の金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 品目別売上高

(単位:百万円)	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	前年 同四半期比		構成比
工業用計測 制御機器	12,473	12,289	△	1.5%	47.7%
環境計測・ 分析機器	2,154	2,353	+	9.2%	9.1%
測定・検査機器	1,640	1,572	△	4.2%	6.1%
産業機械	9,604	9,567	△	0.4%	37.1%
合計	25,873	25,781	△	0.4%	100.0%

## 増減要因

### ◆ 工業用計測制御機器

老朽化した生産設備の更新需要により、IoTを活用した設備投資需要を取込み、遠隔監視システムの販売があった他、上下水道施設向けでレベル計や流量計の販売、電気機器・精密機器製造業向けで圧力センサーの販売が増加しましたが、プラント・エンジニアリング向けでプラント建設案件の減少を受け各種計装品の販売が減少しました。

### ◆ 環境計測・分析機器

法規制の順守や安全対策、また社会インフラ設備や生産設備に使用される各種分析計、環境計測機器の新規導入、更新需要を取込み、鉄鋼製品製造業や化学品製造業向けを中心に水質計やガス検知器の販売が増加した他、大気分析計やガス濃度計の販売が増加しました。

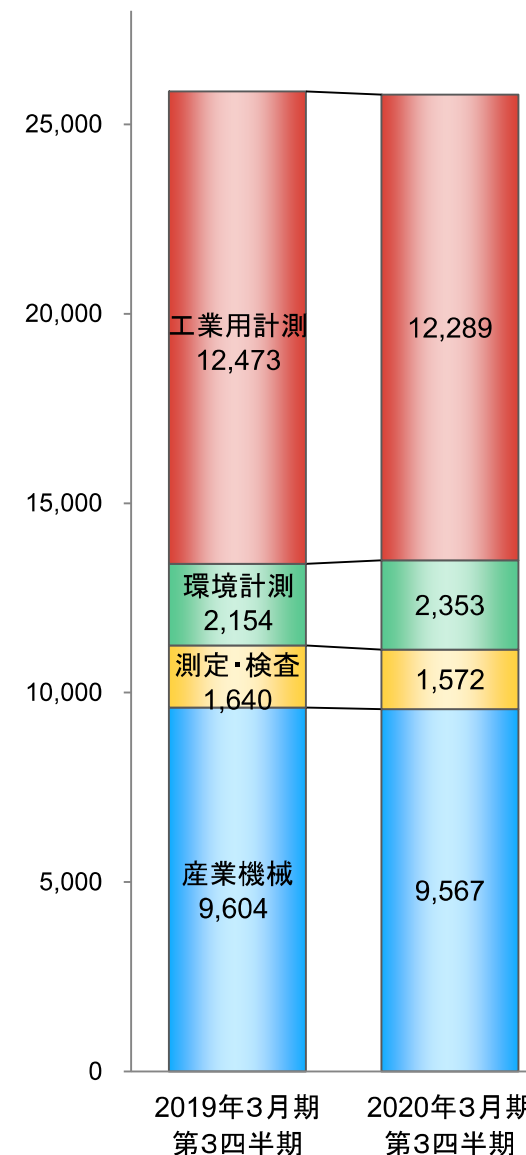
### ◆ 測定・検査機器

高精度、高品質な製品の開発、効率化を図るため生産設備への自動測定装置の導入、保守点検に使用される保安メンテナンス機器の更新需要を取込み、化学品製造業や鉄鋼製品製造業向けで大型検査装置の販売があったものの、米中貿易摩擦の影響を受け、自動車業界で新たな設備投資に対して慎重な姿勢がみられ、自動車部品製造業向け精密測定機器の販売が減少しました。

### ◆ 産業機械

相次ぐ自然災害に対する防災・復旧に使用する産業車両や社会インフラ設備に付帯する機械の販売は堅調に推移しました。また、老朽化した設備や安全対策に関連して大型機械の新規導入や更新需要を取込み、化学品製造業、鉄鋼製品製造業向けで販売が増加したものの、機械製造業や電力会社向けで油圧機器等の販売が減少しました。

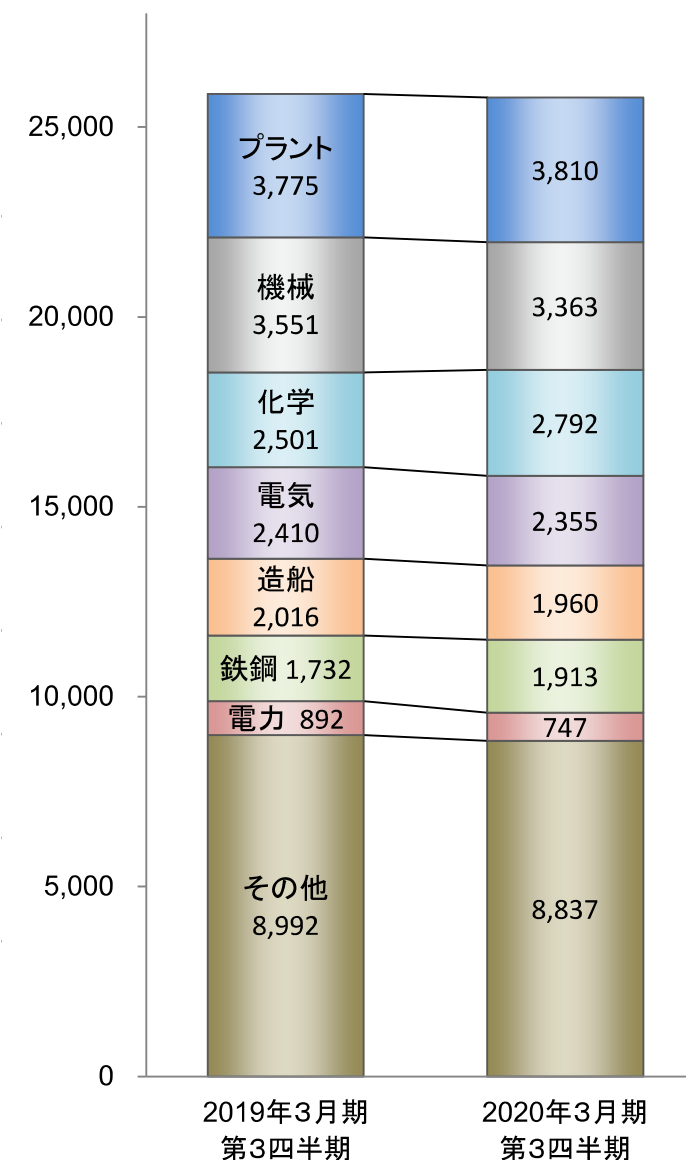
(単位:百万円)



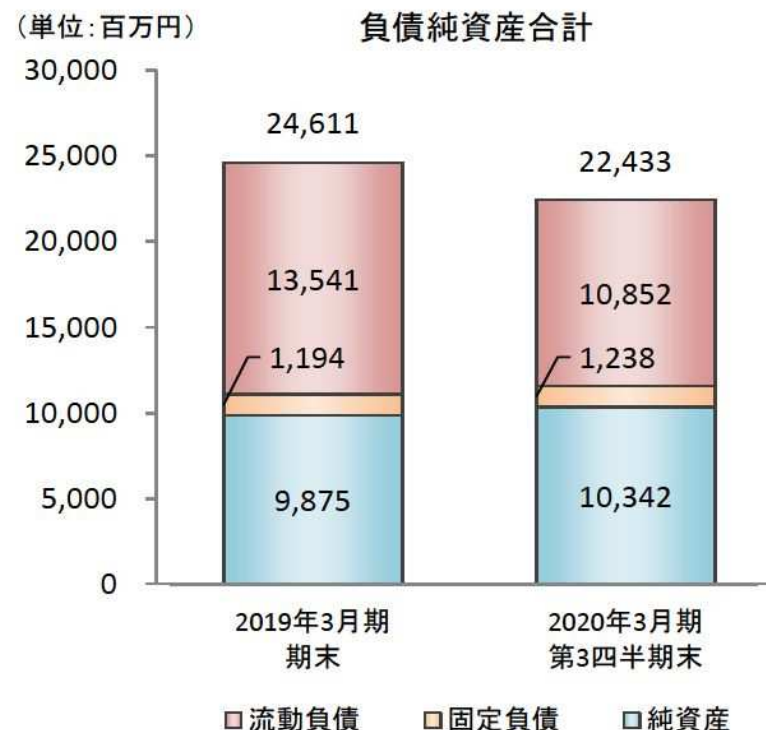
# 業界別売上高

(単位:百万円)

(単位:百万円)	2019年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	前年 同四半期比	構成比
プラント	3,775	3,810	+ 0.9%	14.8%
機械	3,551	3,363	△ 5.3%	13.1%
化学	2,501	2,792	+ 11.6%	10.8%
電気	2,410	2,355	△ 2.3%	9.1%
造船	2,016	1,960	△ 2.8%	7.6%
鉄鋼・ 非鉄金属	1,732	1,913	+ 10.5%	7.4%
電力	892	747	△ 16.3%	2.9%
その他	8,992	8,837	△ 1.7%	34.3%
合計	25,873	25,781	△ 0.4%	100.0%



# バランスシート(連結)



## 2020年3月期 第3四半期 ハイライト(カッコ内は前期比)

自己資本比率：46.1% (2019/03時点 40.1%)

### 資産

【増減の主な要因】(単位:百万円)

◆受取手形及び売掛金： 売上債権の回収が進んだことによる減少  
12,722(△1,719)

### 負債・純資産

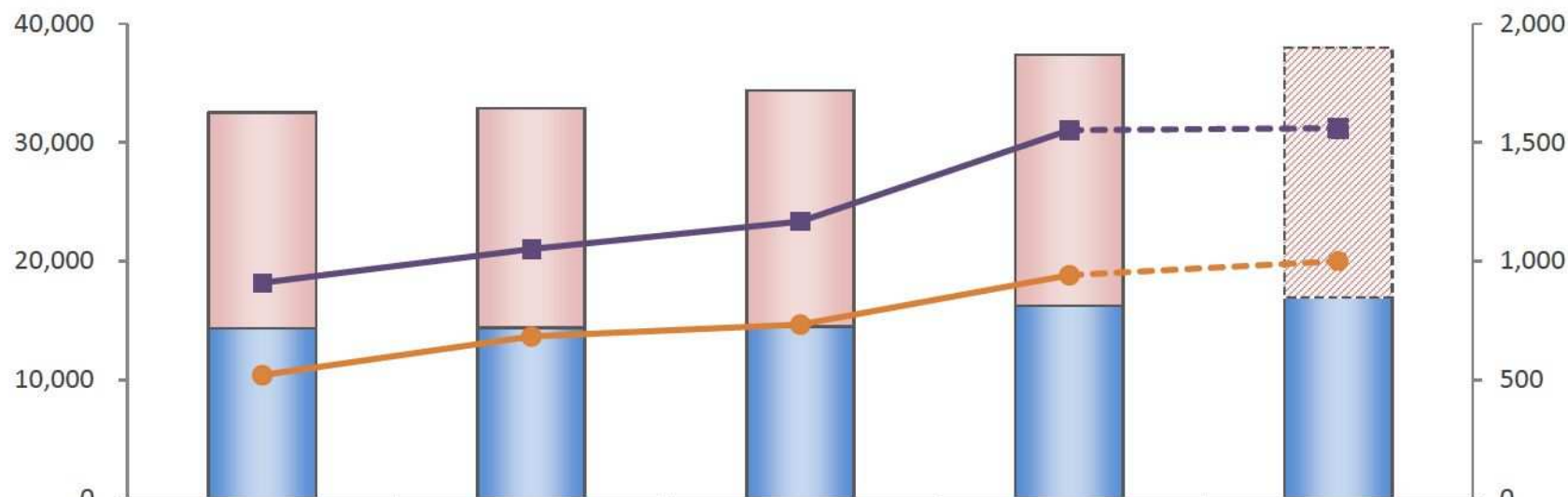
【増減の主な要因】(単位:百万円)

◆支払手形及び買掛金： 5,216(△1,046)  
 ◆電子記録債務： 4,666(△936)  
 ◆賞与引当金： 190(△260)

仕入債務の決済が進んだことによる減少

◆純資産： 10,342(+467)  
 配当の支払い等により減少したが、四半期純利益により増加

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 (見通し)
3~4Q売上高(左軸)	18,178	18,490	19,888	21,143	21,075
1~2Q売上高(左軸)	14,332	14,396	14,479	16,251	16,924
売上高	32,510	32,886	34,367	37,394	38,000
経常利益(右軸)	909	1,051	1,167	1,552	1,560
親会社株主に帰属する 当期純利益(右軸)	520	683	733	941	1,000

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 (目標)
ROE (株主資本利益率)	6.6%	8.2%	8.1%	9.8%	8.0%



本資料に関するお問い合わせ先



経営企画部

TEL: 06-6539-4816

E-Mail: [ir-info@eiwa-net.co.jp](mailto:ir-info@eiwa-net.co.jp)

URL: <https://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受ける為、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。